

2027 年 3 月期 第1四半期決算説明会(WEB 会議) Q&A サマリー

Q:生産状況・稼働率・納期対応状況について

A:半導体関連向けの受注増加に伴い、主要工場の稼働率が上昇しています。合わせて、人員の増強も図っています。納期については、お客様と調整しながら納期管理を実施しています。

Q:通期計画、上方修正の考え方

A:上期は強い需要が継続すると見込んでおりますが、下期は先行発注や前倒し等による不透明感を考慮しております。また、人員増強によるコスト増加も見込んでいます。

Q:半導体関連需要の持続性について

A:半導体向けの需要は、昨年度後半から拡大し、今期1Q も継続しております。市場の予測では、今期の設備投資需要は前年度比で20%以上増加し来期も継続する見通しで、当社も同様の予想をしています。

Q:現在の生産能力

A:修正計画が達成可能な生産能力を有しております。今後も更なる需要拡大に向け、生産能力拡大に取り組んでいきます。

Q:1Q の地域ごとの需要環境について

A:生成 AI 関連の需要拡大を受け、特に東アジア及び東南アジアの伸び率が高くなっています。

Q:前工程と後工程の需要環境を教えてください

A:前工程向けの流体制御機器で需要が拡大しており、合わせて技術革新が進む後工程においても需要が増加しています。

Q:ユニット商品の状況について

A:高付加価値商品であるユニット商品の拡大に取り組んでいます。特に先端半導体向けで増加しています。

Q:受注悪化の兆候について

A:下期に向けて不透明感があるものの、足元で悪化している兆候はございません。

以 上